



地区支部便り

2024年2月7日

滋賀県看護協会

第1地区支部支部長

市立大津市民病院

西村由香 〒520-0804

大津市本宮 2-9-9

看護ネット共催 第2回 地区支部 研修会



看護ネット共催第1地区支部第2回研修会を、R5年12月16日土曜日の午後に市立大津市民病院で開催し、47名のご参加がありました。

大津圏域で勤務する看護職員、訪問看護師、診療所看護師、介護支援専門員、大津市保健所保健師など在宅支援者を対象に「あらゆる場所で働く看護・介護職員の連携強化～地域住民が健康な暮らしを送れるネットワーク作りの推進～」をテーマに、アンケート結果の報告と、JCHO 滋賀病院の呼吸器疾患看護認定看護師と大津市民病院の外来看護師長より事例を報告していただきました。グループ

ワークでは、多職種で課題を共有する機会となり、顔の見える連携ができ今後に繋がる、との感想をいただくことが出来ました。また、「お金の仕組みを知る」「退院カンファレンスの早めの設定」「退院前訪問の実践」「退院後カンファレンスの重要性」など今後の課題を明確化することが出来ました。「活発な情報共有が出来、充実した時間が持てた。」「今回のような多職種を交えた患者中心の連携は色々な問題が見える。今回のような場が頻回に持てればと感じた。」などの感想もあり、有意義な研修となりました。患者が在宅で安心して過ごすためには、それぞれの立場からどのような情報が必要であるのかを伝え、より一層連携できるよう、今後の地区支部、看護ネットの活動へつなげていきたいと思えます。アンケートにご協力いただきました大津県域の看護職員の皆様、また支部員の皆様、大変ありがとうございました。



大津健康フェスティバル ～救急蘇生・AED 体験コーナー～

令和5年10月29日(日)、明日都浜大津で「2023 おおつ健康フェスティバル」が3年ぶりに開催され、高齢者や家族連れなど多くの方が、健康について楽しく体験しながら考える一日を過ごしました。おおつ健康フェスティバルは、「のぼそう健康寿命—とりもどそう元気と笑顔—」のテーマのもと、健康で生きがいを持って人生を豊かに自分らしく、明るく暮らすことができる地域社会の実現を目指し、市民一人ひとりが健康を振り返り、体験を通して健康づくりを見直すきっかけとする目的とし、13団体からなる実行委員会が主催となって開催されました。今回、滋賀県看護協会第一地区支部では「救急蘇生・AED 体験コーナー」で、大津赤十字病院と市立大津市民病院の救急看護認定看護師、BLS インストラクターと共に参加し、訪れた市民の皆様は救急蘇生とAEDを体験していただきました。109名の方がブースを訪れてくださり、



アンケートでは約9割の方に満足していただき、約8割の方が「今後の生活に役立ちそう」とのご意見をいただきました。中でも印象的だったのが、娘さんと一緒に参加された足腰にやや不安のある80歳代の女性の一言です。その女性は以前から参加されており「年をとって自分の健康のことも色々あるけど、自分のためだけでなく、みんなの健康のため何かできることをしたい。それで参加させてもらいました。」と、ご自身の健康の大切さを肌身をもって経験されてきたが故の言葉であり、胸に響く一言でした。他には看護協会マスコットのかんごちゃんとのふれあい体験や、幼児から小学生の子供たちが、看護師をイメージできるように子供用のナース服を着て写真撮影を行ったり、微笑ましくなる心温まる1日でした。救急蘇生・AED コーナーを担当していただきましたスタッフの皆様は厚く御礼申し上げます。



10月から12月にかけて、9施設に「感染管理」「摂食・嚥下障害看護」「脳卒中リハビリテーション看護」「新生児集中ケア」「認知症看護」「慢性心不全看護」「皮膚排泄ケア」「慢性呼吸器疾患看護」の領域の認定看護師の方にご訪問いただきました。看護師だけでなく、医師、薬剤師、理学療法士など多職種の方にもご参加いただき、チーム医療の実践に繋がる実りある研修になったと評価いただきました。事前に入念にご準備いた



だき大きなトラブルなく終了することが出来、ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。また、このような取り組みは今後も継続して欲しいとの声を沢山いただいております。今後も継続し、地域全体で看護の質の向上の一助となるよう取り組んでまいりたいと思います。

写真:感染管理認定看護師(大津赤十字志賀)前田朋美様 打出病院

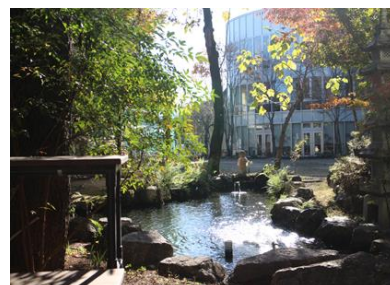
施設紹介 ～第一地区支部役員が勤務する施設を紹介します～ 滋賀里病院編

皆様、こんにちは第1地区支部の書記委員の看護師の村田です。今日は私が勤めている滋賀里病院 精神科についてご紹介させていただきます。入院患者の皆様が心の安定を取り戻していただくために自分を見つめ、他者とのつながりを深めていただくために内服治療や電気治療だけでなく、精神療法に基づいた関わり・看護をさせていただきます。



当院では患者様の対人関係能力や精神力向上のため、農道・武道・医道・文道の4分野で1年の四季を通じて様々な行事や取り組みを行っております。

今日はその中の農道で9月に行われた伊香立農場の稲刈りと11月に病院で行われた秋祭り(収穫祭)についてご紹介させていただきます。



毎年5月の患者様と家族、病院職員での田植えから4か月、黄金色に頭を垂れた稲穂が美しい伊香立農場で患者様、家族、病院職員で稲刈りを行いました。稲刈り、稲穂束ね、稲掛作業を皆で協力しながら共同作業を行いました。昼食には伊香立で採れた食材を使用したジビエ料理等振舞われ、伊香立の自然の中で皆で食べる料理は格別☆その料理に大いに舌鼓を打ちました。11月に病院で行われた秋祭りでは同じく伊香立で収穫した食材を使用した料理が振舞われただけでなく、患者の皆様カラオケ大会に参加していただき、大変盛況のもと皆様楽しんでいただけました。これからも私たちは患者様やご家族と共に信頼される地域精神医療を目指して日々医療・看護に取り組んで参ります。



写真記事提供:第一地区支部役員・村田直樹

※地区支部便りは、今年度より滋賀県看護協会ホームページにも掲載しています。